

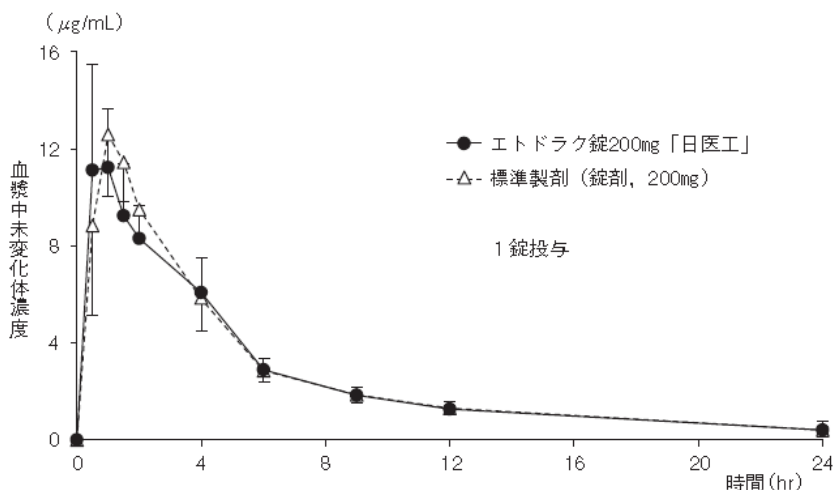
生物学的同等性試験

非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤
エトドラク錠 200mg「日医工」
1錠中エトドラク 200mg

エトドラク錠 200mg「日医工」及び標準製剤を、クロスオーバー法によりそれぞれ1錠（エトドラクとして 200mg）健康成人男子に絶食単回経口投与して血漿中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ（AUC, Cmax）について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、いずれの場合も $\log(0.8) \sim \log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。

	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC _{0→24} ($\mu\text{g}\cdot\text{hr}/\text{mL}$)	C _{max} ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	T _{max} (hr)	t _{1/2} (hr)
エトドラク錠 200mg「日医工」	62.89 ± 9.44	12.88 ± 2.93	0.90 ± 0.66	8.00 ± 3.01
標準製剤 (錠剤, 200mg)	64.81 ± 9.26	13.16 ± 1.67	0.95 ± 0.28	8.09 ± 2.38

(1錠投与, Mean ± S.D., n=10)



血漿中濃度並びに AUC, Cmax 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。